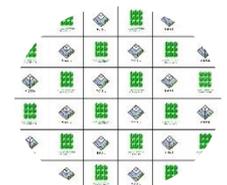
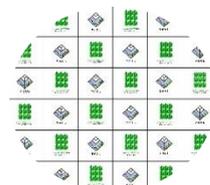
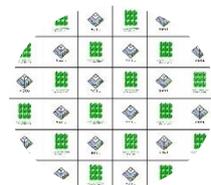
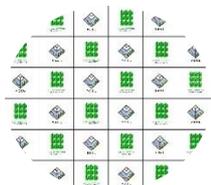
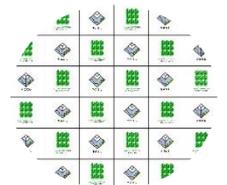
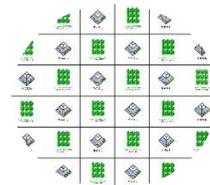
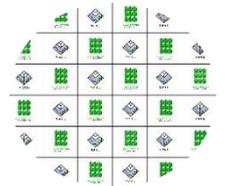


山梨県公立小中学校 教育課程実施状況調査



調査結果の概要

授業改善の *Point*

教育課程実施状況調査 小学校 第6学年 社会

実施児童数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
553	28	61.8	62.8	-1.0

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土の自然などの様子	59.6	62.6	-3.0
	農業や水産業	54.6	55.5	-0.9
	工業生産	69.3	69.9	-0.6
	産業と情報の関わり	64.2	65.9	-1.7
	国土の自然環境と国民生活	64.3	62.3	2.0
観点	知識・技能	65.6	65.7	-0.1
	思考・判断・表現	55.8	58.4	-2.6
	主体的に学習に取り組む態度	56.8	59.6	-2.8
解答形式	選択式	65.2	66.4	-1.2
	短答式	53.1	54.7	-1.6
	記述式	46.9	45.3	1.6

設問別正答率														
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	全国との差 (ポイント)	
		知	思	態	国土	農水	工業	情報						環境
1	選択	○			○					世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解している。	80.5	79.1	1.4
2	選択	○			○						韓国の位置について理解している。	88.4	85.0	3.4
3	短答	○			○						日本の領土の範囲について理解している。	55.9	58.7	-2.8
4	選択	○			○					日本の国土と人々の暮らし	日本の主な地形の名称と位置について理解している。	30.6	35.2	-4.6
5	短答	○			○						日本の主な地形(湖)の名称を理解している。	57.5	67.9	-10.4
6	選択		○	○	○						日本の気候の特徴について、雨温図をもとに判断している。	44.8	49.7	-4.9

7	選択	○						日本の農業	資料をもとに、米づくりに適した気候について考えている。	48.1	43.9	4.2
8	選択	○						日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解している。	81.2	83.8	-2.6
9	選択	○						日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	54.1	49.5	4.6
10	選択	○	○					日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断している。	91.1	90.3	0.8
11	選択	○		○				日本の食料生産	日本の食料生産の理解をもとに、資料を読み取っている。	37.4	34.5	2.9
12	選択	○	○						食品を購入するときの基準について、場面に即して判断している。	68.0	70.9	-2.9
13	短答	○							食料自給率について理解している。	28.4	33.7	-5.3
14	選択	○	○						日本の食料生産について、適切な資料を判断している。	28.2	37.5	-9.3
15	選択	○						自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解している。	86.8	89.3	-2.5
16	選択	○							自動車工場を支える関連工場について理解している。	64.9	65.5	-0.6
17	記述	○	○						自動車の海外生産について、資料をもとに表現している。	27.8	26.3	1.5
18	選択	○						日本の工業生産	工業製品の分類を理解している。	88.2	92.4	-4.2
19	短答	○		○					日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめている。	82.5	85.0	-2.5
20	記述	○	○						日本の工業の特色について、資料をもとに表現している。	66.0	64.2	1.8
21	選択	○							日本の貿易について資料を読み取っている。	69.1	66.5	2.6
22	選択	○						情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.2	89.6	-0.4
23	短答	○							マスメディアについて理解している。	41.0	28.4	12.6
24	選択	○							情報の発信と受信の注意点について考えている。	61.3	67.7	-6.4
25	選択	○	○						販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断している。	65.3	78.0	-12.7
26	選択	○						自然環境と国民生活	間伐について理解している。	79.4	73.3	6.1
27	選択	○							国内の林業が抱える課題について考えている。	45.4	42.2	3.2
28	選択	○							沖縄県での自然環境を守る取り組みについて考えている。	68.0	71.4	-3.4

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子 (農水)農業や水産業(工業)工業生産

(情報)産業と情報との関わり (環境)国土の自然環境と国民生活

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
2		韓国の位置について理解しているかどうかをみる。		選択
8	日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解しているかどうかをみる。		選択
15	自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解しているかどうかをみる。		選択
18	日本の工業生産	工業製品の分類を理解しているかどうかをみる。		選択
19		日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめているかどうかをみる。		短答
22	情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解しているかどうかをみる。		選択
10	日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号14、25」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
4	30.6	35.2	-4.6	知識・技能	選択
問題の内容	日本の国土と人々の暮らし				
出題のねらい	日本の主な地形の名称と位置について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのようにいかしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。また、教科用図書「地図帳」の使い方を適切に指導し、児童が個々の調べ学習において必要に応じて主体的に地図帳を活用できる等、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能の獲得を目指すような指導が大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
14	28.2	37.5	-9.3	思考・判断・表現	選択
問題の内容	日本の食料生産				
出題のねらい	日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」等の問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、我が国の食料生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、資料をもとに根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しによる指導が大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
25	65.3	78.0	-12.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容	情報を生かした産業				
出題のねらい	販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	産業における情報活用の現状について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「その産業ではどのような情報を集めているか」、「情報をどのように活用しているか」等の問いを設けて調べ、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しによる指導が大切である。				

教科の見方・考え方を働かせ、 資料の読み取りの技能等を身に付け、自ら学ぶ児童

こんな姿を
目指したい！

課題がある設問（通し番号 14、25）

- 日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかをみる問題。
- 販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかをみる問題。

分析と課題

- 資料（地図やグラフ）の読み取り等の技能の定着に課題がある。
- 多角的な考察に課題がある。

課題改善のために…

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的事象の見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施
 - ・複数の資料の関連付け・多様な意見に触れる機会・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



日々の学習における改善・充実

全学年（3～6年）の学習で…

社会科において、児童が課題を追及したり解決したりする活動、（中略）

調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程

⇒問題解決的な学習過程を充実させることが重要である

児童が調べ学習をする際に…



このグラフは何を表したグラフですか？
縦軸は？ 横軸は？
1メモリは？ ここの値は？…

まずは読み取り方を指導する

その際…

◎複数の資料を関連付けることも意識する



これら二つのグラフを比べてみると
・結び付けてみると・まとめてみると
どのようなことがわかりますか？

◎児童が自分の力で資料を読み取る



収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取ることができるか？



- ・出来事やその時期、その推移などの前後関係を読み取る
- ・位置関係や形状、分布などを読み取る 等

※小学校学習指導要領解説社会編 P152を参照するとよい

課題解決のための資料の読み取りであることを意識

児童が思考したり判断したりする際に…

◎多角的な考察が重要となる

そのために…

◎教師の意図的な発問・言葉かけ



みなさんお買い物はしたことがありますか？
お店に関わる人ってどんな人がいるでしょうか。
『〇〇にとって「いいお店」とは？』〇〇には何が入りますか？

それぞれについて調べてみましょう

お客さん



商品を運ぶ人

働く人



地球環境

◎対話をして多様な意見に触れること

お客さん側からの意見→

A とにかく安い
お店がいいよ

ほしいものが
あるお店かな



お店側からの意見

C たくさんお客さんが
来てくれるお店かな

Cの児童の意見を取り上げる等して多角的な考察へつなげ…

お客さんの願いがお店の工夫や努力とつながっているんだ！

いつでも多角的に考える意識

教科の見方・考え方を働かせよう！

資料の読み取りの技能等を身に付けよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 小学校 第6学年 理科

実施児童数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
552	30	56.5	60.3	-3.8

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	物質・エネルギー	50.3	56.2	-5.9
	生命・地球	59.2	62.0	-2.8
観点	知識・技能	63.9	68.3	-4.4
	思考・判断・表現	50.8	54.1	-3.3
	主体的に学習に取り組む態度	59.8	62.0	-2.2
解答形式	選択式	58.3	61.4	-3.1
	短答式	56.1	63.0	-6.9
	記述式	45.1	46.9	-1.8

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	物工	生地					
1	選択	○				○	天気の変化	雲画像や雲のようすから住んでいる地域を推測できる。	35.1	33.5	1.6
2	短答	○				○		この時期の雲が西から東のほうへ動くことを理解している。	53.6	67.8	-14.2
3	選択	○				○		資料をもとに、台風の風の強さが特に強い場所を推測できる。	31.2	34.5	-3.3
4	選択	○		○		○		台風に備えて、身の安全のために適切な行動を理解している。	90.2	90.5	-0.3
5	短答	○				○	人のたんじょう	胎児は、子宮で育つことを理解している。	74.5	77.8	-3.3
6	選択	○				○		胎児と母親の間での物質のやりとりのしくみを理解している。	74.5	86.5	-12.0
7	選択	○		○		○	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け方を理解している。	73.9	66.3	7.6
8	選択	○				○		メダカの受精直後のたまごのようすを理解している。	52.5	53.9	-1.4
9	選択	○				○		メダカのたまごの孵化に関するグラフを読み取り、分析できる。	45.8	43.7	2.1

10	記述		○	○					受粉が必要かどうかを確かめる実験について、改善の方法を説明できる。	57.2	56.0	1.2
11	短答	○						○	植物の花のつくりと実 実はめしべの一部が変化したものであることを理解している。	36.1	40.9	-4.8
12	短答		○					○	グラフから、実が育つ割合と虫が花に来た回数 の関係を分析できる。	55.8	55.6	0.2
13	短答	○						○	侵食について理解している。	49.6	57.0	-7.4
14	選択		○					○	流れる水のはたらき 流れる水のはたらきについて、予想が正しかった 場合に得られる実験の結果を推測できる。	58.2	62.7	-4.5
15	記述		○	○				○	流れる水のはたらきについて、目的の結果を得 るための実験の方法を構想し、説明できる。	58.9	60.7	-1.8
16	選択		○					○	植物の発芽と成 長 種子の発芽に空気が必要かどうかを確かめる ための適切な対照実験を指摘できる。	62.7	67.5	-4.8
17	短答		○					○	実験の結果から、種子の発芽に必要な条件を 推測できる。	67.0	75.6	-8.6
18	選択		○					○	袋に入って販売されている種子が発芽しない理 由を指摘できる。	60.7	63.4	-2.7
19	選択	○						○	成長したなえの子葉にでんぷんがふくまれない 理由を理解している。	81.3	86.5	-5.2
20	選択	○						○	けんび鏡の使い 方 観察に適した顕微鏡の種類を理解している。	65.2	62.2	3.0
21	選択	○		○				○	顕微鏡の使い方を身に付けている。	58.2	59.6	-1.4
22	選択		○		○				ごみ処理場での電磁石の利用方法から、電磁 石の性質を指摘できる。	69.4	71.4	-2.0
23	選択		○		○				引きつけたゼムクリップの数から、コイルの巻き 数と乾電池のつなぎ方を推測できる。	43.7	48.4	-4.7
24	選択		○		○				2つの実験の結果のちがいがいから、電磁石の力 の強さを変える要因を指摘できる。	46.4	52.8	-6.4
25	選択	○		○	○				ふりこの周期の測定方法を理解している。	59.2	63.6	-4.4
26	選択		○		○				ふりこのきまり 実験の方法と結果から、ふりこの条件を推測で きる。	46.0	53.5	-7.5
27	選択		○		○				ふりこの周期を理解し、実験の結果を推測でき る。	51.1	51.3	-0.2
28	短答		○		○				塩水を熱する作業によって塩をとり出している ことを指摘できる。	55.8	66.0	-10.2
29	選択	○		○	○				物のとけ方 ろ過のしかたを身に付けている。	61.6	75.2	-13.6
30	記述		○	○	○				グラフをもとに、食塩水を冷やした際の実験の 結果を推測し、その理由を説明できる。	19.2	23.9	-4.7

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（物工）物質・エネルギー （生地）生命・地球

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
4	天気の変化	台風に備えて、身の安全のために適切な行動を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
5	人のたんじょう	胎児は、子宮で育つことを理解しているかどうかをみる。		短答
6		胎児と母親の間での物質のやりとりのしくみを理解しているかどうかをみる。		選択
7	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け方を理解しているかどうかをみる。		選択
19	植物の発芽と成長	成長したなえの子葉にでんぷんがふくまれない理由を理解しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号24」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
2	53.6	67.8	-14.2	知識・技能	短答
問題の内容	天気の変化				
出題のねらい	この時期の雲が西から東のほうへ動くことを理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	問題解決を通して習得した知識を活用して、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉えなおす場面を設定する。ICT機器等を活用し気象衛星などから得た雲の動きの情報を、実際に地域の空で体験的に捉えなおすことで、学習内容をより深く理解させることが大切である。さらに地域に伝わる天気のことわざを調べ、天気と雲の様子の関係性を捉えさせるような学習活動も考えられる。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
24	46.4	52.8	-6.4	思考・判断・表現	選択
問題の内容	電流のはたらき				
出題のねらい	2つの実験の結果のちがいがから、電磁石の力の強さを変える要因を指摘できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	一人一人が問題に対して根拠のある予想や仮説をたて、問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想する場面を設定する。その際に、「条件を制御する」という理科の「考え方」を意識させる。変える条件と変えない条件を整理することで、予想や仮説を検証するために何に目を向けるのかを明確にしていくことが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
29	61.6	75.2	-13.6	知識・技能	選択
問題の内容	物のとけ方				
出題のねらい	ろ過のしかたを身に付けているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	一人一人が実験に関する基本的な技能を身に付けることができるようにする。器具の操作に関する手順の理解を図るとともに、間違えやすい事例を教師が演示し、器具を使用する目的や操作の意味を捉えることができる場面を設定する。また、実験を行う際には、ICT機器等を活用し、器具の使用方法に関する動画を提示したり児童が繰り返し視聴したりすることも考えられる。				

こんな姿を
目指したい！

解決の方法を発想し、 主体的に問題を解決しようとする児童

課題がある設問（通し番号 24）

- 2つの実験結果の違いから、電磁石の強さを変える要因を指摘する問題。

分析と課題

- 問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想することに課題が見られる。
- 「条件を制御する」という考え方の活用に課題がある。

課題改善のために…

- 一人一人が問題に対して根拠のある予想や仮説をもち、問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想する場面を設定する。
- 「条件を制御する」という理科の「考え方」を意識させ、変える条件と変えない条件を整理することで、予想や仮説を検証するために何に目を向けるのかを明確にする。

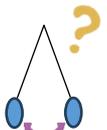
高学年の学習で

日々の学習における改善・充実

自然現象への気づき

問題

ふりこの1往復する時間は、何によって変わるのだろうか



問題の設定

どう思いますか。予想してみましょう。

予想や仮説の設定



家でふりこ時計をみたことがあるな。

ブランコの動きににているな。



子供固有の生活経験や素朴概念・既習内容からの予想や仮説

ヨーヨーで遊んだ時に、ひもが短い時の方が動きがはやかった気がするな。ふりこの長さが関係していると思う。

移動する距離が長い方が時間がかかると思う。だから、ふればばだと予想したよ。

ブランコに子供が乗った時と大人が乗った時では大人の時の方がはやそう。だからおもりの重さが関係していると思う。

より妥当な予想や仮説に 高めていくために

自分と同じ予想の人、違う予想の人と○人ずつ交流してみましょう。

どのように予想したのか、配信したシートに入力しましょう。その際に、理由も入力してみましょう。



私はふりこの長さが関係していると予想したけど、そうではない友達もいるな。



共有 参照
ICTの活用

〇〇さんは、ふればばだと予想しているな。理由をもう少し詳しく聞いてみたいな。

おもりの移動する距離が長くなるからふればばだと思ったんだけど、ふりこの長さだと予想している◇◇さんに理由をきいてみよう。

違いを顕在化

私はふりこの長さが長いほど、ゆっくりになると思うな。

何を調べればよいか明確に

ふりこの長さをかえて実験してみると分かりそうだね。そうすると、おもりの重さやふればばは変えてはだめだね。

検証計画の立案

観察、実験

結果の処理

考察

結果の導出



- 「共有」といったICTの特性・強みをいかし共同編集することで、友達の予想を確認でき、考えをひろげ、より妥当なものに高めることができるようにする。
- 根拠のある予想や仮説を発想することで、何を調べればよいか明確にさせ、子供自ら解決の方法を発想することができるような場を設定する。

「予想や仮説」を発想させ、より妥当なものに高める場面を設定し、

何を調べればよいかを明確にさせよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
505	30	51.1	53.0	-1.9

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	52.3	55.4	-3.1
	歴史	49.8	50.5	-0.7
観点	知識・技能	53.3	53.8	-0.5
	思考・判断・表現	48.5	52.0	-3.5
	主体的に学習に取り組む態度	41.2	43.1	-1.9
解答形式	選択式	52.5	53.3	-0.8
	短答式	59.6	64.1	-4.5
	記述式	17.4	26.6	-9.2

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	地	歴					
1	選択	○			○		日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	39.0	49.2	-10.2
2	選択		○		○			日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断している。	88.9	91.1	-2.2
3	記述		○	○	○			日本の資源・エネルギーにかかわる課題について、資料をもとに考察し表現している。	25.3	37.6	-12.3
4	選択	○			○	○		日本の漁業や海洋の特色についての理解をもとに、複数の資料を関連付けて読み取っている。	45.7	49.1	-3.4
5	選択	○			○		日本の諸地域	日本の各地方の自然環境について理解している。	64.6	65.3	-0.7
6	短答	○			○			関東地方の自然環境について理解している。	72.7	79.3	-6.6
7	選択		○		○			九州地方の工業の特色について、資料をもとに判断している。	36.4	40.2	-3.8
8	選択	○			○			中部地方の農業の特色について理解している。	29.5	21.0	8.5
9	選択		○		○			北海道地方の酪農について考察している。	73.5	81.5	-8.0

10	選択		○	○	○	日本の諸地域	近畿地方や中部地方の工業の特色についての理解をもとに、地図に着目して判断している。	36.2	36.1	0.1
11	短答	○			○	地域調査の手法	扇状地について理解している。	51.7	55.8	-4.1
12	選択		○		○		地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察している。	76.2	81.6	-5.4
13	選択	○			○		地図記号の理解をもとに、地形図を読み取っている。	65.5	64.5	1.0
14	選択	○				ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ルネサンスや大航海時代について理解している。	38.4	32.0	6.4
15	選択	○					ヨーロッパとイスラム世界との交流について理解している。	59.0	52.3	6.7
16	選択	○					織田信長による統一事業について、資料を読み取っている。	61.4	66.1	-4.7
17	選択	○					織田信長による統一事業について理解している。	71.1	52.3	18.8
18	選択		○				豊臣秀吉による対外政策について、資料をもとに判断している。	60.2	62.7	-2.5
19	選択		○			江戸時代	徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断している。	54.9	62.7	-7.8
20	選択		○	○			江戸時代の大阪の蔵屋敷が集中していた地域について、資料をもとに判断している。	67.7	67.9	-0.2
21	短答	○					蘭学について理解している。	52.5	63.1	-10.6
22	選択		○				幕府の政治改革や欧米諸国の接近について、資料をもとに判断している。	33.5	34.3	-0.8
23	選択		○	○			開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	41.6	38.2	3.4
24	選択	○				明治時代	地租改正について、資料を読み取っている。	43.7	49.9	-6.2
25	短答	○					殖産興業について理解している。	61.9	58.2	3.7
26	選択	○					板垣退助による政党結成について理解している。	47.8	53.1	-5.3
27	選択		○				大日本帝国憲法の制定について、資料をもとに考察している。	44.4	48.9	-4.5
28	選択		○	○		日本の地域的特色と地域区分	日本の工業の特色についての理解をもとに判断している。	30.7	30.0	0.7
29	選択	○			○		日本の農業の特色について、複数の資料を関連付けて読み取っている。	48.3	49.1	-0.8
30	記述		○	○		明治時代	幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現している。	9.5	15.6	-6.1

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（地）地理 （歴）歴史

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
6	日本の諸地域	関東地方の自然環境について理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
17	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長による統一事業について理解しているかどうかをみる。		選択
2	日本の地域的特色と地域区分	日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
9	日本の諸地域	北海道地方の酪農について考察しているかどうかをみる。		選択
12	地域調査の手法	地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号19、30」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
1	39.0	49.2	-10.2	知識・技能	選択
問題の内容		日本の地域的特色と地域区分			
出題のねらい		日本の地形の特色について理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		地理的事象や関連する語句の伝達だけでなく、日本の地形の特色に関する課題などを設定し、フォッサ・マグナを境にして分けた地域区分を比較し、共通点や差異、分布の傾向性に着目して、多面的・多角的に考察し、国内を大きく区分して見ると、西南日本には東西の方向に、東北日本には南北の方向に背骨のように山脈が走ること等の知識を基に、その結果を表現できるよう展開が考えられる。また、地図帳を十分に活用しながら日本全体としての地域的特色を理解することが大切である。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
19	54.9	62.7	-7.8	思考・判断・表現	選択
問題の内容		江戸時代			
出題のねらい		徳川家光が改訂した武家諸法度の内容について判断できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題(問い)を設定し、個々の生徒が、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどを考察し、これらの考察の結果を表現する活動などを工夫して、幕府と藩による支配が確立したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
30	9.5	15.6	-6.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容		明治時代			
出題のねらい		幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「社会の変化と幕府の政策の変化」などに着目して課題(問い)を設定し、近世社会の基礎が動揺していったことに気付くことができるようにするとともに、江戸時代後半の外国船の接近や、それに対応した幕府による北方の調査や打払令などを扱い、それらの背景について考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことの理解を目指すという展開が考えられる。			

こんな姿を
目指したい！

自ら課題を見出し、学習を調整しながら 追究する生徒

課題がある設問（通し番号 19、30）

- 徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断する問題。
- 幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し表現する問題。

分析と課題

- 社会的事象の意味や背景の理解に課題がある。
- 複数の事象をもとに考察し、表現することに課題がある。

課題改善のために...

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的な見方・考え方を働かせた課題解決的な学習の実施
 - ・課題設定の工夫・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫

日々の学習における改善・充実

※本事例は、学習指導要領歴史的分野 B (3) ア (4) を基に単元を構成した際の、単元中の 1 時間を想定したものである。学習指導要領で示された理解項目の習得のためには単元全体をデザインする等、系統的な視点も重要である。(R4「授業改善の point」参照)

歴史的分野の学習で...

それぞれの幕府の実質的な支配期間ですが...

えっ？江戸幕府だけがそんなに長いんだ...

江戸幕府が見つけた秘訣はなんなのだろう。

なぜ、江戸幕府は長い間政治の権力をたもてたのだろうか？

教科書には、「武家諸法度」や「幕藩体制」ということが書いてあるよ。

大名の配置についての地図も載っているわ。

〇〇さんの意見を見てみると、こんな考え方もあるのか。

教科書と地図資料の関連も考えると、参勤交代や大名の配置、幕藩体制などの制度はそれぞれが個別ではなく...

1人1台端末とクラウド環境を活用し、他の生徒の意見を共有しておくことは、思考の広がりや意見の比較が有効である。

教科書で調べてみただけだと、幕府は対外政策にも力を入れていたみたいだよ。

幕府が長く続いたのは参勤交代だけが理由ではない？もっと様々な面から調べてみよう。

調べたことを友達に説明していたら、自分の理解が十分でないところが見えてきました。もう一度、まとめを見直してみよう。

幕府はどのような国づくりを目指していましたか？

なぜ、このような大名の配置にしたのでしょうか。

他幕府と比べてみるとどうですか？

日本が鎖国をしている間他の国はどのような動きをしていたのだろうか？

「歴史的分野 C(1)ア(ア) 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」の学習へ

授業改善の POINT

生徒の疑問を引き出す工夫をしていますか？

理解させたいことにつながる単元の学習問題や各時間の学習課題を、生徒とともに設定していますか？

情報収集、読み取り、まとめ等の指導を積み重ねた上で、学習活動を生徒に委ねてみませんか？

「見方・考え方」等の追究の視点や方法についての指導を積み重ねていますか？

生徒は課題意識をもっていますか？

生徒が課題の解決を目指して資料を活用して追究していますか？

生徒が協力的な学びから自らの学びを振り返り、調整しようとしていますか？

生徒は課題追究を通して理解できていますか？また、新たな課題を見出していますか？

生徒が、社会的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする学習過程の工夫をしよう！

ここが Point

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
506	33	46.9	50.5	-3.6

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	エネルギー	45.6	47.9	-2.3
	粒子	48.1	51.2	-3.1
	生命	53.6	57.9	-4.3
	地球	38.4	43.0	-4.6
観点	知識・技能	51.0	54.8	-3.8
	思考・判断・表現	41.4	44.6	-3.2
	主体的に学習に取り組む態度	40.1	42.1	-2.0
解答形式	選択式	48.8	52.6	-3.8
	短答式	50.3	53.4	-3.1
	記述式	22.2	26.1	-3.9

設問別正答率													
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	(ポ イン ト) の 差
		知	思	態	エ ネ	粒 子	生 命	地 球					
1	選択	○				○			物質の成り立ち	原子の性質について理解している。	61.5	68.4	-6.9
2	短答	○				○				化合物について理解している。	35.6	42.9	-7.3
3	選択		○			○			化学変化	エタノールの燃焼のモデルの誤りを見直し、改善できる。	40.3	45.0	-4.7
4	選択	○		○		○			化学変化	ガスバーナーの使い方を身に付けている。	55.1	51.0	4.1
5	短答	○				○				発熱反応について理解している。	63.4	61.2	2.2
6	選択		○			○				実験の結果について、正しくない発言をしている人を指摘できる。	50.6	53.9	-3.3
7	短答	○				○			物質の成り立ち	炭酸水素ナトリウムの化学式を理解している。	20.4	25.8	-5.4
8	短答	○				○			化学変化と物質の質量	炭酸水素ナトリウムと塩酸を反応させると、二酸化炭素が発生することを理解している。	58.5	59.5	-1.0

9	短答	○					化学変化と物質の質量	質量保存の法則を確かめるために、実験の方法を改善できる。	47.2	53.0	-5.8
10	選択	○					生物と細胞	動物の細胞について理解している。	51.8	54.1	-2.3
11	選択	○						植物の器官について理解している。	54.3	52.7	1.6
12	選択	○	○				植物のからだの つくりとはたらき	葉にワセリンをぬる理由を理解している。	78.7	81.1	-2.4
13	選択	○						葉の裏から出ていった水の量の求め方を指摘できる。	17.6	20.2	-2.6
14	短答	○						蒸散について理解している。	63.6	68.5	-4.9
15	選択	○					動物のからだの つくりとはたらき	貧血の原因が赤血球やヘモグロビンと関係していることを推測できる。	65.8	72.9	-7.1
16	選択	○						アンモニアの排出について理解している。	26.7	39.7	-13.0
17	選択	○					動物のからだの つくりとはたらき	だ液のはたらきを調べるための対照実験を構想できる。	55.9	54.6	1.3
18	選択	○						だ液にふくまれている消化酵素がアミラーゼであることを理解している。	68.2	76.9	-8.7
19	選択	○					気象の観測	圧力の求め方を理解している。	33.4	40.5	-7.1
20	短答	○						飛行機に乗って上空にいるときに、ふたをしたペットボトルがへこんでしまった理由について理解している。	48.0	53.4	-5.4
21	短答	○					前線の通過と天 気の変化	温暖前線と寒冷前線の前線面の断面と雲のようすを理解している。	26.3	31.6	-5.3
22	記述	○	○					グラフや天気図の記号を分析し、寒冷前線が通過したことを説明できる。	30.2	38.0	-7.8
23	短答	○		○			電流の性質	電熱線の抵抗の大きさを求めることができる。	61.7	58.6	3.1
24	短答	○		○				結果のグラフから、電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度の関係を推測できる。	74.9	73.7	1.2
25	記述	○	○	○				並列でつないだ方が、電熱線による水の上昇温度が大きくなることを説明できる。	10.5	11.9	-1.4
26	選択	○		○			電流と磁界	磁界の中で電流の大きさを変えたときのコイルのようすを指摘できる。	32.2	39.3	-7.1
27	選択	○		○				電流の向きを逆にすると、コイルの動く向きが逆になる理由を理解している。	53.4	59.2	-5.8
28	選択	○					日本の気象	梅雨前線について理解している。	45.7	47.8	-2.1
29	選択	○						まとめから、ゲリラ豪雨と線状降水帯の特徴について推測できる。	44.5	44.1	0.4
30	短答	○						近年、日本海側で降る雪の量が増えている理由を推測できる。	40.5	45.3	-4.8
31	短答	○		○			電流の正体	静電気について理解している。	63.2	67.5	-4.3
32	記述	○	○	○				粉末インクが帯電していない部分以外に付着しない理由を説明できる。	25.9	28.3	-2.4
33	選択	○		○				感光体の全体に光を当てた状態でコピーしたときの結果を推測できる。	43.1	44.8	-1.7

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（エネ）エネルギー （粒子）粒子 （生命）生命 （地球）地球

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
12	植物のからだのつくりとはたらき	葉にワセリンをぬる理由を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
24	電流の性質	結果のグラフから、電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度の関係を推測できる。	思考・判断・表現	短答

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号16」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
16	26.7	39.7	-13.0	知識・技能	選択
問題の内容	動物のからだのつくりとはたらき				
出題のねらい	アンモニアの排出について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	体内に取り込まれた物質がどのようにして体外へ排出されるのかを、モデル図を用いながら、学習他者と対話したり、自分の考えを修正したりしながら学習を進めていくことが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
22	30.2	38.0	-7.8	思考・判断・表現	記述
問題の内容	前線の通過と天気の変化				
出題のねらい	グラフや天気図の記号を分析し、寒冷前線が通過したことを説明できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	寒冷前線は、前線通過後に気温が低くなるだけでなく、前線を形成する冷たい空気と押し上げられる温かい空気がぶつかる前線面沿いに積雲ができる。このことを、理科の見方・考え方を働かせながら、立体的なモデル実験を通して気温や湿度、風向き、雲の形成方法などを多面的に捉え、前線通過前後の変化を見つけ出すような探究的な授業を展開することが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
26	32.2	39.3	-7.1	思考・判断・表現	選択
問題の内容	電流と磁界				
出題のねらい	磁界の中で電流の大きさを変えた時のコイルのようすを指摘できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	電流が磁界から受ける力の向きは、電流の流れる方向が変わると逆になる。このことを、理科の見方・考え方を働かせながら、電気ブランコの実験装置を使って目に見えない電流や磁界の向きを視覚化する。そして、電流の流れる向きを変えたり、磁石の位置を変えたりすることで、電流と磁界の関係を比較するような探究的な授業を展開することが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

理科の見方・考え方をはたらかせて、 探究的に学ぼうとする生徒

課題がある設問（通し番号 16）

- 血液に含まれる有害な物質であるアンモニアが肝臓のはたらきによって無害な尿素に変わる仕組みを答える問題。
- 肝臓と腎臓のはたらきの違いを答える問題。

分析と課題

- 情報を整理し、知識を活用することに課題がある。

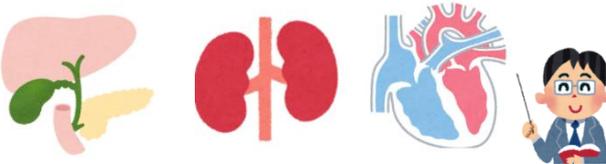
課題改善のために…

- 理科の見方・考え方を働かせて、血液の循環と各器官のはたらきを関連付けて学習者が探究できる機会をつくる。
- 既習の学習内容を「関連付け」ながら、血液中の物質をモデル図を用いて体外へ排出される仕組みを対話的に学ぶ場面を設定する。



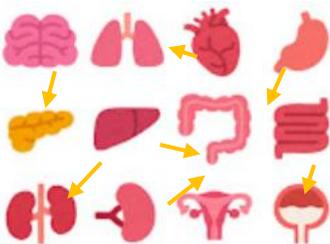
日々の学習における改善・充実

2 学年の学習で…



肝臓、腎臓、心臓など小単元で人体の各器官の大切なはたらきについて学習を進めていきます。

一つ一つの器官を学習している時は理解できるけど、単元が進んでいくと覚えることが多くなってくるなあ。



それなら、それぞれを別々で覚えるより、関連付けた方が理解しやすくなるわ。

大事なのは「各器官のはたらきを関連付けて」小単元で学んだことにつながりをもたせて学ぶことです。

学習する際に言語化したものを「モデル図」など視覚的に理解しやすいツールを使うことがとても有効です。



モデル図があると友達にも説明しやすいね。



モデルを実際に動かして血液を循環させてみよう。



肝臓と腎臓の働きの違いがわかりやすいね。

授業の終盤には学習者が「学んだことがつながっている」という感覚を身に付けるために、自己評価シートや新たな問いづくりなど「ふりかえり」を充実させることも意識しましょう。



①理科の見方・考え方を学習者が意識的に使用しながら探究の過程をたどっていけるような問いや、思考のツール、学習形態を工夫。

②単元を貫く本質的な問いを設定するなど、小単元で学んだ内容が、進んでいくにつれて関わり合って新たな学びにつながっていく単元展開とふりかえりの工夫を意識していく。

学習者の学びが「自走」するように、つながりのある単元学習と協働的な振り返りの場面を設定しよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
504	32	47.1	50.9	-3.8

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	51.5	53.3	-1.8
	読むこと	53.6	59.5	-5.9
	書くこと	32.7	34.9	-2.2
観点	知識・技能	59.6	64.1	-4.5
	思考・判断・表現	31.0	33.8	-2.8
	主体的に学習に取り組む態度	19.1	20.0	-0.9
解答形式	選択式	56.2	60.9	-4.7
	短答式	41.8	45.0	-3.2
	記述式	19.9	20.7	-0.8

設問別正答率												
通し 番号	解答 形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	(ポ イント の差)
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	○			○			リスニング (内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(禁止の命令文)	49.0	44.5	4.5
2	選択	○			○				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(時制と天気)	85.1	91.5	-6.4
3	選択	○			○				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(比較表現)	62.7	63.2	-0.5
4	選択	○			○			リスニング (対話文の応答)	対話を聞き、適切に応答している。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)	74.8	78.5	-3.7
5	選択		○		○				対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に 応答している。(なぜそれを作っているのか とたずねられて)	36.3	37.2	-0.9
6	選択		○		○				対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に 応答している。(所有物を使用していいかと たずねられて)	65.7	69.7	-4.0
7	選択		○		○			リスニング (さまざまな英文 の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を 把握している。	40.5	43.9	-3.4

8	選択		○		○			リスニング (さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	29.8	33.1	-3.3
9	記述		○	○	○			リスニング (対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを書いている。	19.8	18.4	1.4
10	選択	○					○	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(There are ~.の文)	67.7	73.7	-6.0
11	選択	○					○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(lookを用いたSVCの文)	71.6	69.1	2.5
12	選択	○					○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(副詞的用法の不定詞)	65.5	65.9	-0.4
13	選択	○					○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(最上級)	61.1	70.8	-9.7
14	選択	○					○	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	80.0	89.2	-9.2
15	選択	○					○			58.1	68.2	-10.1
16	選択		○				○	さまざまな英文の読み取り	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	44.2	53.9	-9.7
17	選択		○				○		ポスターを読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	52.4	58.1	-5.7
18	選択	○					○		対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を選んでいる。	62.3	71.1	-8.8
19	選択		○				○		対話を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して適切な金額を選んでいる。	31.9	36.8	-4.9
20	選択	○					○	長文の読み取り	メールを読み、その内容を理解している。	43.7	46.2	-2.5
21	選択	○					○		メールを読み、代名詞itが指す内容を理解している。	53.2	63.2	-10.0
22	選択	○					○		メールを読み、その内容を理解している。	44.2	50.5	-6.3
23	短答		○	○			○		メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	14.3	16.0	-1.7
24	短答	○					○	単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(動名詞)	53.6	58.4	-4.8
25	短答	○					○		文の語順を理解し、正確に書いている。(giveを用いたSVOOの文)	59.3	59.9	-0.6
26	短答	○					○		文の語順を理解し、正確に書いている。(形容詞的用法の不定詞)	28.0	34.1	-6.1
27	短答	○					○		文の語順を理解し、正確に書いている。(比較級)	53.8	56.6	-2.8
28	記述		○	○			○	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(部員数をたずねる)	5.6	10.7	-5.1
29	記述		○	○			○		対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(見た場所をたずねる)	15.7	16.2	-0.5
30	記述		○	○			○	3文以上の英作文	学校の制服について、自分の考えや意見を相手に伝わるように書いている。	32.9	33.1	-0.2
31	記述		○	○			○		学校の制服について、自分の考えに対する理由や説明を、相手に伝わるように書いている。	30.6	30.2	0.4
32	記述		○	○			○		学校の制服に対する自分の考えや意見について、まとめた内容で紹介する英文を、相手に伝わるように書いている。	14.7	15.3	-0.6

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】 (知) 知識・技能 (思) 思考・判断・表現 (態) 主体的に学習に取り組む態度
【領域について】 (聞) 聞くこと (読) 読むこと (話) 話すこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
2	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(時制と天気)	知識・技能	選択
4	リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、適切に応答しているかどうかをみる。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)		選択
11	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(lookを用いたSVCの文)		選択
14	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号16」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
15	58.1	68.2	-10.1	知識・技能	選択
問題の内容	語彙の知識・理解				
出題のねらい	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	常活動やSmall Talkを通し、意味のある文脈の中で既習事項を繰り返し使用させることが必要である。また、自らの考えをただ一言で伝えるのではなく、接続詞などを活用して自身の考えの理由や根拠を伝える言語活動を継続的に実施し、適切なフィードバックを与えながら言語面の正確性と内容面の適切さについて指導することが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
16	44.2	53.9	-9.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容	さまざまな英文の読み取り				
出題のねらい	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	文章のあらすじや流れを読み取る力や、理解できる英文をもとに文章全体や詳細について推測する力を生徒につけさせたい。課題改善のために、リーディング活動の際には、各段落のタイトルをつける活動、段落と段落の関係を図示する活動、書き手が最も伝えたい部分を探し線を引き活動、要約文を書く活動などが考えられる。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
28	5.6	10.7	-5.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容	場面に応じて書く英作文				
出題のねらい	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(部員数をたずねる。)				
学習の指導に当たって	会話の流れを読み取る力をつけるために、普段から文脈のある文章や言語活動を準備し指導を行う必要がある。また、話したり書いたりする場面において、生徒に単語やフレーズではなく文表現をさせることも重要である。他にも、生徒は小学校外国語活動・外国語科の学習を通して様々な問いかけについて学んでいることから、小学校の学習内容や言語活動を中学校の教員が把握し、学びを引き継ぐ小中連携を意識した指導を行っていく必要がある。				

こんな姿を
目指したい！

文と文の関係性を正確に読み取り、 短い文章の概要を捉えることができる生徒

課題がある設問（通し番号 16）

発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいるかどうかをみる問題

分析と課題

- ・各段落の主な内容を読み取ることに課題がある。
- ・それらを過不足なく関連付けて、短い文章の概要を捉えることに課題がある。

言語活動を通して 日々の学習における改善・充実

文章を読む目的を把握する



Shiori wrote an article about "the library in her town." Let's read the article to understand the outline.

大まかな内容を読み取ればいいんだ

文章を読み、各段落の主な内容を捉える

(1) 各自のペースで文章を読み、主な内容をつかむ

Let's read the article. Find the main point of each paragraph.



第一段落のメインの話題はこれかな

(2) 各自の考えをグループ内で共有し検討する

第2段落

There are many kinds of spaces, too. For example, people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.



I think this is the main point of paragraph 2.

やり取り

"For example"とあったので、そのあとは例が書かれていると思いました。

なるほど

段落間の関係を把握する

I have a question. I think "The library in our town is more creative, too." is the main point of paragraph 1.

What do you think?

I think "The Library in our town is more creative, too." is the main point of whole article.



"We can do a lot of things there." "There are many kinds of spaces." "Our creative library can connect people." といった文がクリエイティブなところを表していると思います。

やり取り

概要としてまとめた英文に情報の不足や偏りがないか検討する

Shiori wrote four outlines of the article. Which one is the best?

やり取り

① The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.

I think "①" is the best answer. This has the main point of whole article and the main point of each paragraph.

④ The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

これは第3段落のことしか書かれてないね。



学んだことを別の状況でも活用する

大まかな内容を捉えよう

この文とこの文の関係は…

意味のある文脈、言語の働きを意識した使用場面を設定しよう！
既習事項を整理し、他の状況でも活用できる場面を仕組もう！

ここが Point